

広島大学大学院文学研究科

第12回

「文藝学校」講演会

日時

平成26年11月8日（土）

午後1時30分～5時

入 場 無 料

会場

本の学校 今井ブックセンター2階
多目的ホール

鳥取県米子市新開2-3-10

Tel 0859-31-5001

主催

広島大学大学院文学研究科・文学部
NPO法人 本の学校

共催

（株）今井書店グループ・「本の学校」郁文塾

講師

溝淵園子（総合人間学講座 准教授）

講演題目・要旨

ロシア文学のなかの「日本人」

日本文化への国際的な関心について
ニュースなどで報じられますが、かつて
「外国」の目には、日本文化や日本人はど
のように映っていたのでしょうか。20世
紀ロシア文学にもさまざまな「日本人」
が登場します。いくつか例を読み解きな
がら、その背景の一端を探っていきましょ
う。

講師

妹尾好信（日本・中国文学語学講座 教授）

講演題目・要旨

世界記憶遺産・道長自筆『御堂関白記』の和歌

平安時代の最高権力者だった藤原道長の自
筆日記『御堂関白記』が京都の陽明文庫に残っ
ていて、昨年ユネスコの「世界記憶遺産」に
登録されました。漢文で書かれた一見無味乾
燥な日記ですが、実は8首の和歌が記されて
います。それらを読み解くことで道長の人柄
にふれてみましょう。

講師

松本陽正（欧米文学語学・言語学講座 教授）

講演題目・要旨

小説を読み解くワクワク感

20世紀文学を代表する名作、アルベール・
カミュ『異邦人』（1942）を取りあげます。
この小説は一人称で書かれていますが、一
人称のナレーションによる効果を中心にお
話しし、小説を読み解く面白さ、ワクワク
感の一端をご紹介します。

◇申し込み・お問い合わせ先
NPO法人 本の学校

電話 0859-31-5001（10時～17時）ファックス 0859-31-9231
電子メール lb-schule@imailbooks.co.jp